

【2019年日本ブドウ・ワイン学会 功労賞 受賞講演要旨】

日本ブドウ・ワイン学会 功労賞受賞に感謝を込めて

松本 信彦

マンズワイン株式会社

2019 ASEV JAPAN Professional Recognition Award

Nobuhiko MATSUMOTO

Mann's Wine Co., Ltd.

この度、日本ブドウ・ワイン学会 功労賞をいただきましたこと、身に余る光栄と存じております。

2001年功労賞が設けられ、今までに近畿大学の米虫先生、千葉大学の松井先生、山梨大学の松土先生、カリフォルニア大学のリエ・イシイ・ルソー先生、京都大学の小田先生、そして酒類総合研究所の後藤先生とそうそうたる先生方が受賞されております。

私のような民間企業の人間がこの賞をいただいたことは恐れ多いことだと思っております。

選考、審議に携わっていただきました後藤奈美会長、奥田徹事務局長、小原均学会賞担当理事はじめ理事、評議員の先生方に、心より御礼申し上げます。

私が、日本ブドウ・ワイン学会に関わりましたのは、初代会長であります故横塚勇先生の関係でした。私は、1969年山梨大学工学部発酵生産学科の卒業生で卒論の担当教授が横塚勇先生でした。マンズワイン（株）入社時にも大変お世話になった大恩人でもあります。

横塚勇先生は、UC Davisにおいて1954から1956にかけてMaynard A Amerine教授に師事され、その時ASEVの日本人初のメンバーになられたとのことです。その後、ご子息の横塚弘毅先生がUC Davisに留学され、様々な折衝の末1984年8月ASEVの2つ目の支部としてASEV Japanの設立が認められたとのことです。

私は、フランス学派を自認しておりましたし、研究者ではなく官能派ワイン醸造家とっていたため入会にはためらいもありましたが、横塚勇先生立ち上げの研究会ということで入会させていただくことになりました。

1989年から1991年にかけて編集委員、1991年から1993年にかけて編集幹事、1993年から1996年にかけてディレクター、1996年から2000年にかけて理事、2001年から2002年にかけてディレクター、2003年から2004年にかけてトレジュラー、2005年から2010年にかけてセクレタリー、2011年から2014年にかけて評議員、2015年から2018年にかけて奥田徹先生、後藤奈美先生の強力な熱意に負け会長職をつとめさせていただきました。色々な役を経験し、私にとって多くのことを学びました。力不足でお役に立ててきたのか疑問ですが、功労賞の受賞理由が「日本ブドウ・ワイン学会の活動の支援と発展に対する長年の多大な尽力」ということですので長年在籍していたことによるご褒美としてお受けさせていただきました。

私もワイン業界に入って50年が経っております。今後とも日本ワインに対して醸造・栽培技術の向上、ワイン品質の向上を目指して日本ワイン発展に尽力していく所存であります。ワイン業界にとっても悪い影響があると思いますので新型コロナウイルス

スの一刻も早い鎮静化を祈念しております。日本ブドウ・ワイン学会功労賞有難うございました。